

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査

## 新ひだか町立学校の 調査結果

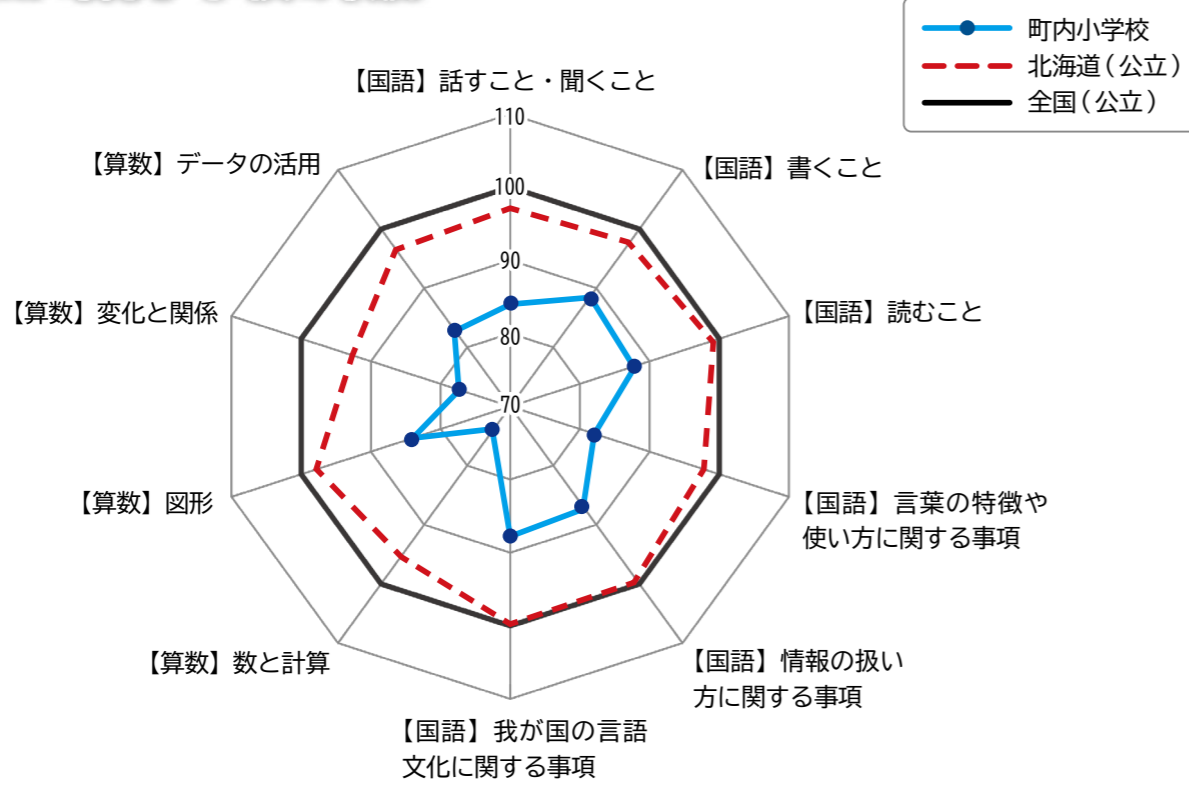
令和6年4月18日に、本年度の「全国学力・学習状況調査」が実施され、結果が公表されました。  
小学校、中学校ともすべての領域において全国・全道の平均正答率を下回っており、その中でも、小・中学校共通して国語の「話すこと・聞くこと」、「言葉の特徴や使い方に係る事項」、「算数・数学の「数と計算・式」の領域が全国・全道の平均正答率よりも特に低い結果となっているため、町全体の課題として捉えています。



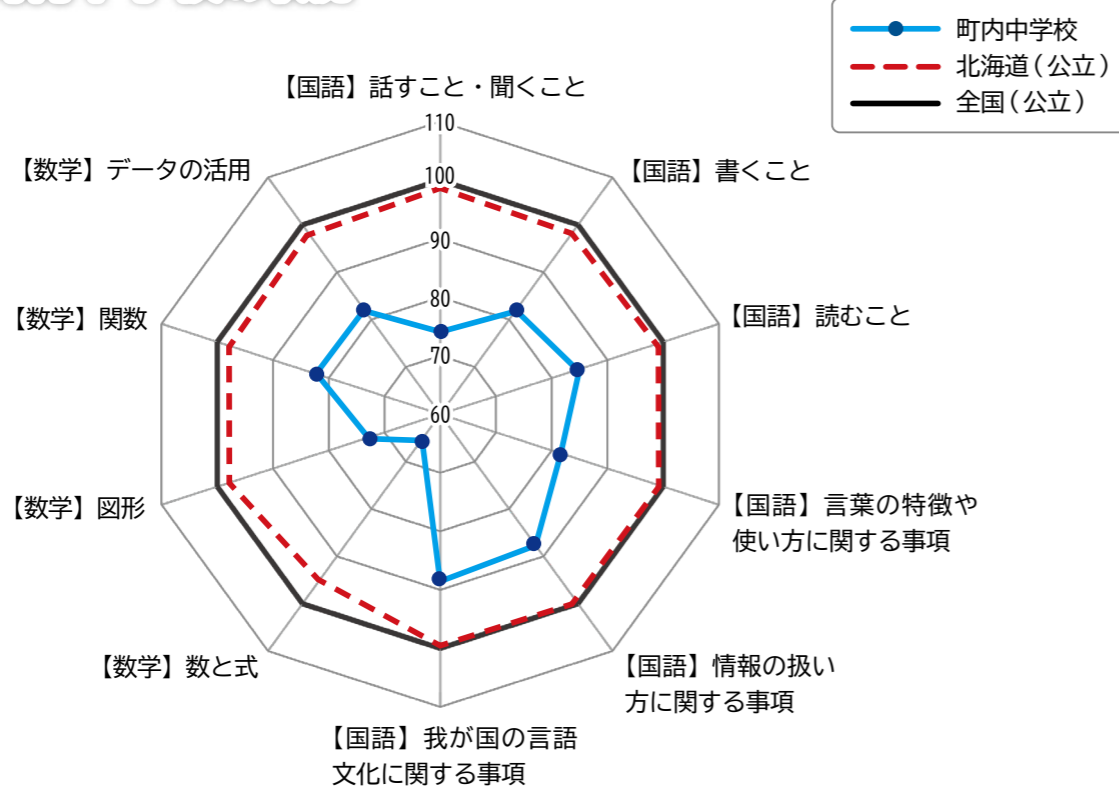
## 教科全体の状況

各教科の領域別に全国を100とした場合の全道および新ひだか町の状況

### 新ひだか町内小学校の状況



### 新ひだか町内中学校の状況



一方、昨年度課題として挙げられていた小学校国語の「書くこと」、小・中学校算数・数学の「データの活用」については、今年度の他の領域に比べ全国・全道の平均正答率に近い結果となっています。  
これは町の取り組みである「学力向上推進ブロックにおける小中連携による学力向上策」や「ICTの授業における効果的な活用による授業改善」、また各学校で取り組んでいる学力向上策などの成果と考えています。  
今後ともこうした取り組みを推進し、当町児童生徒一人ひとりに確かな学力を育んでいきたいと考えています。



対象者(人数)	小学6年生(153人)	中学3年生(141人)
学校数	3校	3校
実施内容	国語・算数・質問紙調査	国語・数学・質問紙調査
課題が見られる項目	【国語】言葉の特徴や使い方に係る事項 【国語】情報の扱い方に係る事項 【国語】話すこと・聞くこと 【算数】数と計算 【算数】変化と関係	【国語】話すこと・聞くこと 【国語】書くこと 【国語】言葉の特徴や使い方に係る事項 【数学】数と式 【数学】図形

### 新ひだか町の学力向上策

- 中学校区を単位とした学力向上推進ブロックにおける小中の連携を図った学力向上策の推進
- 「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」推進教員を中心としたICTの効果的な活用による授業改善
- 授業との関連を図った家庭学習の取り組みとアウトメディアチャレンジの推進



### 質問紙調査

質問紙調査からは、小学校においては授業で画像や動画などの活用が進み、中学校ではほぼ毎日の授業でICT機器が活用されており、小・中学校ともに授業でICT機器を積極的に活用した授業改善が進んでいることを示す結果となりました。一方で、朝食摂取率や家庭学習時間などにおいて、全国・全道平均を下回るという課題が続いています。また、家庭におけるゲームやスマートフォンなどの

使用時間が全国と比べて長いことも課題です。  
昨年度からスマートフォンやゲーム機、パソコンなどの電子メディアを使う時間をコントロールし、上手に付き合っていくことで自分の生活習慣を見直していく「アウトメディア」の啓発・取り組みをスタートさせました。今後も学校・家庭・地域と連携し「アウトメディア」の取り組みをより一層推進し、児童生徒の生活・学習習慣の改善につなげていきたいと考えています。